

第4学年4組 道徳科学習指導案

- 1 主題名 正しいことは自信をもって 内容項目【A 善悪の判断、自律、自由と責任】
- 2 ねらい いけないことだと知りつつも、誘いを断れなかつた主人公がどうすればよかつたのかを考える学習を通して、正しいことを、自信をもつて行動する大切さに気づき、正しいと思うことを進んで行おうとする態度を育てる。

教材名 「ハートがたのガム」（出典：彩の国のどうとく「みんななかよし」埼玉県教育委員会）

3 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容について

本主題の内容項目【A 主として自分自身に関すること】の【1 善悪の判断、自律、自由と責任】は、物事の善悪について的確に判断し、自ら正しいと信じるところに従つて主体的に行動すること、自由を大切にするとともに、それに伴う自律性や責任を自覚することに関する内容項目である。中学年の内容項目は「正しいと判断したことは、自信をもつて行うこと。」であり、本時の学習はこのことの大切さを押さえることがねらいとなる。また、高学年の内容項目「自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。」に繋がっていく。

中学年の発達段階では、正しいことや正しくないことについての判断力が高まってくる。その一方で、友達との関係が強まって、互いに影響し合うようになり、いけないこととわかっていても、周りにいる友達との関係を大切にするあまりに、誤った行動をとることが起きてしまいがちである。指導においては、正しいことを行えないときの後ろめたさや、自ら信じることに従つて正しいことを行ったときの充実した気持ちを考えさせることで、正しいと判断したことは自信をもつて行う大切さを実感できるようにする。

（2）これまでの学習状況および児童の実態について

本学級の児童は、明るく心優しい児童が多く、男女の仲もよい。日々の生活の様子を見ていると、学級の仲間を傷つける言動に対して、周りの児童が注意する姿が見られるなど、善悪の判断力が高い児童が多い。しかし、自分の感情を常に優先してしまったり、自分で判断ができず周りに流されてしまったりする児童もいる。また、正しいと分かっていても行動に移せないで躊躇してしまう児童も見られ、自信をもつて正しい行動をするという姿勢に課題がある。そこで、本時の学習を通して、正しいことを、自信をもつて行動する大切さに気づき、正しいと思うことを進んで行おうとする態度を育みたい。

（3）教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公のかずみがいけないこととは分かっているながら、きれいなガムが欲しい気持ちと親友であるために断りにくい状況に悩まされた結果、心の弱さに負け、ガムを受け取ってしまう場面（人間理解）と、家に帰つてからガムのことを母に問われ、どうすればよかつたのか考え、道徳的価値の内容に気が付くという場面（価値理解）で構成されている。

本時においては、親友のあきからガムを渡されたかずみが、いけないことだと知りつつも誘いを断れず軽い気持ちで受け取ってしまっときの気持ちに共感させ、その後のかずみの後ろめたさや後悔を十分に考えさせたい。また、人は誰でもかずみのように正しいと分かっていてもなかなか実行できなかったり、悪いと知りつつも周りに流されてしまったりと、自分の心に負けてしまうときがある。そのため、してはいけないことをした自責の念にかられたとき、母親の一言でじっくりと自分を見つめ直すかずみの生き方を通して、自信をもって正しく行動することの大切さについて、児童の多面的・多角的な考えを引き出せるようにする。

4 学習指導過程

	学習活動・発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導入 (5)	1 アンケートの結果から、これまでの生活について振り返る。 ○友達が間違ったことを言っていたり、していたりしたときに、どうしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 下校中、友達に「一緒に走って帰ろう」と言われ、走って帰ってしまった。 友達の悪口を言っているとき、止められず、いっしょに悪口を言ってしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果を提示することで、ねらいとする道徳的価値について問題意識がもてるようにする。 課題を設定・掲示することにより、本時の学習内容の明確化を図る。
		課題 正しいと思ったことを進んで行うにはどんな気持ちが大切かを考えよう。	
展開 (37)	2 教材を読み、話し合う。 ○親友のあきと一輪車をしているかずみはどんな気持ちだったでしょう。 ○あきにハートがたのガムを差し出された時のかずみはどんな気持ちだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> うれしい。 楽しいな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">もらわない</div> <ul style="list-style-type: none"> ガムは学校に持ってきてはいけないものだから。 他の友達に知られたら嫌だから。 怒られたら嫌だから。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">もらう</div> <ul style="list-style-type: none"> 1個だけなら大丈夫だから。 親友のあきがくれたから。 	<ul style="list-style-type: none"> かずみとあきは「親友同士」ということを再度押さえる。 「一つぐらい」、「二人だけのひみつ」、「あきは平気な顔」、「親友同士」をキーワードに、いけないことだと知りつつも、親友に言い出せず、その場の雰囲気に流されていくかずみの気持ちをとらえられるようする。 ワークシートに自己の気持ちを記述させることで、自己の考えを明確にさせ、話合いを深められるようする。

	<p>○手のひらのガムを見つめている時、かずみはこれからどうしていこうと考えているでしょうか。</p> <p>3 自己を見つめ、振り返る。</p> <p>○これまでの自分を振り返りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いけないことだけど、あきも持っているから。 ・断る強い気持ちをもつ。 ・正しいかどうかよく考え、正しい行動をする。 ・正しいと判断したことは、自信をもって行う。 ・今までの自分は、友達に流されてしまうことがあった。これからは、「自分は間違っていない。」という気持ちがもてたら、行動していく。 ・今までの自分は、友達がいけないことをしているときに、止めることができなかった。これからは、だめなことはだめだと自信をもつて伝えられる人になりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3人グループの話合いにより、自分の考えを深めたり・広げたりするとともに、自信をもって自分の考えを発表できるようにする。 <p>☆いけないこととしている友達に対して取るべき行動を多面的・多角的に考えている。(ワークシート、発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板を用い、主人公の手のひらのガムを拡大掲示することで、心情にせまる。 <p>・タブレット上の振り返りシートに振り返る活動を取り入れ、自分自身を見つめさせることによって、ねらいとする道徳的価値についての自覚を深めさせる。</p> <p>☆正しいことを行う大切さについて考えを深め、これまでの自分を振り返り、これから的生活に生かしていこうとする気持ちを、発言したり、タブレット上の振り返りシートにまとめたりしている。(ワークシート・発言)</p>
終末 (3)	4 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話を聞きながら、道徳的価値に対する考え方を深めさせ、実践化への意欲付けをする。

5 他の教育活動との関連

日々の生活や学習活動の中で、善悪の判断が必要とされる場面で適切な判断ができた児童を見付け、称賛する。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・いけないことをしている友達に対して取るべき行動とその理由を、様々な視点から捉えて考えたり、発言したりしている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・正しいと思うことを行う大切さについて考えを深め、これから的生活に生かしていこうとする気持ちを、発言したり、振り返りシートにまとめたりしている。

7 板書計画

